

◆ マスクを寄贈いただきました

5月14日(木)、福島サンケン株式会社様から新型コロナウイルス感染防止を目的として、マスク1,000枚を寄贈いただきました。今年、工学部卒業生が新入社員として入社したご縁によるもので、マスクとともに卒業生からのメッセージが添えられておりました。寄贈いただきましたマスクは学生の感染予防のため、有効に活用させていただきます。

福島サンケン株式会社の皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。



◆ 令和2年度日本大学工学部北桜奨学金について

工学部では、経済的困窮者を対象とした各種奨学生等の募集を行っています。日本大学工学部北桜奨学生は随時募集を行っておりますので、希望者は学生課までお問い合わせください。また、日本学生支援機構など各種奨学金制度を利用することが可能です。

詳しくは、工学部ホームページをご確認ください。



◆ 福島県産米約1.3トンを無償提供いただきました

6月9日(火)、JA福島さくら様、JA夢みなみ様、JA東西しらかわ様より、新型コロナウイルス感染症の影響で経済的不安を抱える工学部学生への支援として、福島県産米約1.3トン(1人2キロ、約680名分)を無償提供いただきました。提供いただきました福島県産米は、経済的不安を抱え、支援を希望する工学部学生に配付させていただきます。

J A福島さくら様、JA夢みなみ様、JA東西しらかわ様の温かいご支援に感謝申し上げます。



◆ 災害奨学生のご協力をいただきました

台風19号による災害に際し、多くの皆様から温かいご支援をいただいております。ご協力いただいた支援金は、被災学生の修学援助のための「災害奨学生」として使用させていただきます。工学部及び工学部被災学生にご支援賜りましたことを心より御礼申し上げます。

令和2年3月25日以降にご支援を頂いた方々のご協力に感謝し、ご芳名を本誌に掲載させていただきます。

災害奨学生のご協力(令和2年3月25日以降)

齋藤 たか子様

◆ バーチャルオープンキャンパスサイトを開設しました

新型コロナウイルス感染症拡大防止にともない、キャンパスにお越しいただけない受験生の皆様のために、自宅にいながらWEB上で工学部の教育環境や学科の特色、入学者選抜方式などの情報がわかるバーチャルオープンキャンパスサイトを開設しました。6学科の各研究室をピックアップして紹介するコンテンツもあり、在学生の皆さんも必見です。



<https://www.ce.nihon-u.ac.jp/voc/>

未来へ語り継ぎたいものがある

工学部広報

No.259 令和2年7月31日

編集:日本大学工学部広報委員会

発行:日本大学工学部 TEL(024)956-8618

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1

<https://www.ce.nihon-u.ac.jp> E-mail ceb.koh@nihon-u.ac.jp

ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお寄せください。



環境にやさしい植物油インク
リサイクル可能な紙で
印刷しております。
この印刷物は再生紙を
使用しております。

工学部広報

卒業生
特集

スペシャル対談
大野均氏 × 根本修克 教授
元ラグビー日本代表 工学部長

P3



CONTENTS

◆ 新工学部長ご挨拶 P1

◆ 新任教員紹介 P2

◆ 卒業生特集 P3-6

◆ 就職特集 P7

令和元年度就職実績 P7
工学部の就職支援 P8

◆ 研究特集

シリーズ 新たなる挑戦 P9-10
クローズアップ工学部 P11-12

・新型コロナウイルス感染症に対する工学部の取り組みについて P13-14

・工学部だより P15

新工学部長ご挨拶

日本大学工学部での
学修を通して、
自ら可能性を
切り拓いてください

日本大学工学部長 根本 修克



日本大学の教育理念は「自主創造」であり、知的好奇心を持って「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、新しい道を切り拓くことを意味しています。工学部では、この理念のもとで、「ロハス工学」をキーワードとした教育・研究活動に取り組んでいます。ロハス(LOHAS)とは、「Lifestyles of Health and Sustainability」の頭文字をとった略語で、「健康で持続可能な生活様式」と訳されます。「ロハス工学」は、そのような生活様式を工学的観点から支援しようとするものです。これから日本大学工学部において「人と地球に優しいか」などの問題意識をもちながら専門的な知識や技術を学んでください。

工学を修得する者には、科学技術の利用が社会活動に及ぼす影響などを見定める能力も求められます。したがって、専門分野の知識の修得に努め、論理的・批判的思考力や問題発見・解決力を身につけるのみでなく、教養も含めた幅広い分野の知識の修得にも注力し、豊かな知識や教養に基づく高い倫理観を身につけてください。その一方で、学部行事やサークル活動などにも積極的に参加して、人とのつながりや地域との関わりの中から多くのことを学び、人の輪を大切にしながら豊かな人間性を育み、日本大学教育憲章で身につけるべき能力として掲げられているコミュニケーション力やリーダーシップ・協働力の修得につなげてください。

大学における学びは、「学修」と呼ばれます。皆さんが高校までに行ってきた学びは、「学習」であり、「学修」とは区別されます。「学習」とは、文字通り、習い学ぶことを意味するのに対して、「学修」は、学び修ること、すなわち、学んで能力を身につけることを意味します。能力を身につけるためには、継続的に努力することが大切です。継続的に努力することは、あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦する能力の修得につながります。また、努力を続けながら、時には、謙虚に自己を見つめ、振り返ることも重要で、これを繰り返すことで省察力が身につきます。大学生活において身につけるべきこれら的能力は、大学卒業後に社会人としての知識や能力獲得力の向上につながり、活躍の場を広げることができます。

学生の皆さん、日本大学工学部という新しいステージにおける学修を通して、これから日本の担う一流の技術者・研究者に必要な能力を身につけ、自分の可能性を切り拓いていくことを願っています。

■プロフィール

1963年東京生まれ。1992年早稲田大学大学院理工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。早稲田大学理工学部助手(公財)相模中央化学研究所・研究員、新エネルギー・産業技術総合開発機構・産業技術研究員、山形大学工学部助手を経て、2002年日本大学工学部助教授。2010年より日本大学工学部教授。専門分野は、有機材料化学、高分子合成化学で、最近はケイ素含有高分子材料の創製や燃料電池用触媒などを手がけている。

新任教員紹介

令和2年4月より

着任されました教員を
ご紹介します。

電気電子工学科 コミュニケーション工学研究室

医療現場での経験を糧に、
活躍できる臨床工学技士を
育てていきたい



村上 佳弥 助教

学生時代から教員になりたいと思っていたので、実際に病院で臨床工学技士として働きながら、大学院へ進学し、学位を取得しました。医療機器のメンテナンスには、エンジニアとしての高い知識が必要だと感じています。病院で勤めた自身の経験を糧に、医療現場や医療機器メーカーなどで活躍できる臨床工学技士を養成できるよう尽力いたします。

資格の取得に関わらず、学修の悩みやわからないことがあれば、気軽にご相談ください。微力ではありますが、大学そして学生の皆さんのために貢献していきたいと思います。

総合教育 教職課程研究室

日本の産業を支える
「ものづくり」「人づくり」に
努めて参ります



宇佐美 浩 特任教授

茨城県内の工業高校で教員・校長を務めて参りました。豊かな心を持ったエンジニアを育て、日本の産業を支える「ものづくり」「人づくり」に貢献することが、私の使命だと思っております。私のように工学部を卒業し、教員となった数多くの校友との絆を強め、もっと工学部の魅力を高校生に伝えたいと考えています。また、学生の皆さんには、地球上の「誰一人取り残さない」SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の取り組みを通して、未来の「ものづくり」をマネジメントできるエンジニアを目指してほしいと願っています。

建築学科 建築歴史意匠研究室

自ら考え、自ら道を拓いて
いける人材の育成と地域性を
考慮した建築・まちづくりの
研究に取り組みます



高橋 岳志 助教

これまで、建築学科の非常勤講師として皆さんと接してきたが、もっと近くで教育に携わっていきたいと思い、工学部の教員になりました。建築設計事務所を設立し、住宅や公共施設などの建築を手掛けた実績から、そのノウハウを活かした教育や地域性を考慮した建築・まちづくりの研究に取り組みたいと考えています。持続可能な地域づくりのためには、建築資材や人材を含めた地産地消が重要なテーマです。自ら考え、自ら道を拓いていける人材を育成するとともに、私自身も皆さんと一緒に勉強しながら、更なるスキルアップを目指します。

情報工学科 情報セキュリティ研究室

ヒラメキひとつで
世界を変える、
新しいコンテンツの
開発に挑戦します



林 隆史 教授

私がコンピュータに魅せられたのは、幼い頃にSF小説を読んだことがきっかけでした。コンピュータを使えば、いろいろ楽できる。コンピュータは便利なもの。更にコンピュータを使って、もっと楽できる方法はないか。そんなことを考えながら研究に取り組んでいます。情報セキュリティだけでなく、AI、信号処理、画像処理、數理工学、計測工学など研究分野も多彩です。卒業して30年後に、「先生のあの話を聞いていて良かった」と思ってもらったら本望です。私と一緒に、新しいコンテンツを生み出して、世界を変えてみませんか?

総合教育 教職課程研究室

ノーベル賞を夢見ながら、
ともに歩んでいきましょう



渡邊 真魚 准教授

福島県教育委員会の研修制度を活用し、中学校の教員として働きながら大学院で学んだ経験から、研究に興味を持ち大学教員の道に進みました。父が学んだこの工学部で教鞭を執ることになり、深いご縁を感じております。工学部が教育・研究テーマに掲げるロハス工学は、世界に発信できる魅力的な考え方です。これからは地球環境に配慮できる倫理観を持った技術者が必要になるでしょう。私も道徳教育をテーマに創造的な研究に力を注いで参ります。学生の皆さんには、将来、ノーベル賞を受賞するぞというくらいの大きな夢を持つことを願っています。

工学部で培った 今の自分の 経験が 礎になっている

元ラグビー日本代表
大野 均 氏

スペシャル対談

日本大学工学部長
根本 修克 教授

ラグビーがあったから、
勉強も頑張れたと思います

根本学部長 永年にわたり日本ラグビー界で活躍され、日本代表キャップの歴代最多記録も打ち立てられ、本学学生だけでなく、多くの人に大きな希望と勇気を与えてくれたことは、我々にとっても大変名誉なことであります。本学の誇りだと思っています。

大野氏 いつも応援いただきありがとうございます。

工学部で築いた人間関係は私の人生の礎になっています。こうして節目節目で足を運ぶ機会を設けていただき、大変光栄に思っています。

根本学部長 世界を舞台にラグビー日本代表の中核となって活躍された姿は、今でも印象深く心に残っています。今日はこれまでのラグビー人生のお話とともに、工学部での思い出なども聞えたらと思っています。よろしくお聞きいたします。

大野氏 こちらこそ、よろしくお願ひいたします。



根本学部長 早速ですが、工学部に進学された経緯についてお話をいただけますか。個人的にも大変興味があります。

根本学部長 工学部のラグビー部だと、そんなに大きな大会への出場もなかったのではないですか？



大野氏 そうですね。1・2年生の時は東北地区リーグ1部に所属していましたが、3・4年生の時は2部に落ちてしまい、リーグ編成が変わってしまって4年生になっても昇格できないまま終わってしまいました。その時、「この人たちの仲間に入りたい」と思つたんです。心を動かされるような熱を感じました。それから4年間、ラグビーを通して充実した大学生活を送ることができました。振り返ってみると、ラグビーがあったから、勉強も頑張れたんだと思います。

根本学部長 4年間で思い出に残っている試合はありますか？

大野氏 小学生の頃から野球をしてきましたが、高校時代はずっと捕手だったんです。人一倍練習したという自負はあったんですが、最後までレギュラーになれなくて。だからその悔しさを大学で晴らそうと思つていました。野球部ではなくラグビー部に入部することはになりましたが、野球をやっていたおかげで体が鍛えられていたのは良かったと思います。初めてやったラグビーで人とぶつかりあっても恐怖心もなく、むしろ楽しいと思いました。

根本学部長 大学時代からポジションはロック(LO)だったんですか。

大野氏 身長も高かったので1年生の時はロックでしたが、部員数が少ないので4年生が抜けると空いたポジションに入れられて、1年ごとにポジショ

ンが変わっていました(笑)。フォワードだけでなく、ウイングも経験しました。でも、社会人になってからいきなりウイングをやらされたことがあつたんですが、その試合で3トライ決めました。初めて日本代表に召集された時もウイングだったんです。大学時代にウイングを経験しておいて良かったと思いました。そのほか、フランカーやナンバーワイドも経験したことがあります。その4つのポジションは社会人になってからもやらせてもらいましたが、ある程度は通用しましたね。

根本学部長 いろいろなポジションを経験されているから、全体を見回すことができ、チームの中でリーダーシップを発揮することができたんでしょうね。

大野氏 そうですね。様々な面からラグビーを知ることができ、基盤になったと思います。

根本学部長 部員が少ない工学部のラグビー部だったからこそ、できた経験とも言えますね。

大野氏 おかげで、試合にも毎回出場することができました(笑)。これが関東の強豪校で部員が100人もいるところだったら、埋もれていたでしょうね。工学部のラグビー部だったからこそ、今の自分があると言つても過言ではありません。

根本学部長 話題は変わりますが、学修の面では何か苦労されたことなどありますか。

大野氏 実習が多かったという印象があります。特に4年生の卒業研究は燃料の研究をしていたのですが、日中は研究室で研究して、夕方はグラウンドでラグビーの練習。終わったらまた研究室に戻つて朝方まで研究したりしていました。今振り返るとよくやっていたなと思いますね。当時はそれが楽しくて、勉強もラグビーも充実していました。研究室の先輩や同僚とのつながりもあり、飲みに行く機会が多くて楽しかったのを覚えています。

根本学部長 研究室の指導教員が、毎月一回イベントを開いて交流の場を設けてくれました。



根本学部長 大野さんは酒豪で有名ですが、ラグビー同様、大学時代から素質があったんですね(笑)。

大野氏 その時代に内職も鍛えられたのかもしれません(笑)。

根本学部長 私の研究室でも交流の場を設けて、仲間とのつながりを大事にするよう指導しています。研究を進めていく上では、結果が出なくて辛いこともありますが、めげずに継続していくことがとても大切です。でも、楽しもしないとなかなか続かないもの。研究の楽しさだけでなく、人と触れあう楽しさを味わいながら、互いに切磋琢磨してほしいと思っています。

大野氏 昨日も機械工学科の先輩と会食しましたが、大学時代の仲間は今でもつながっています。大事にしたいですね。そう言えば、萬壽園はまだありますか？ ラグビー部の新生歓迎会で初めて先輩たちと会食した店なのですが。

根本学部長 今も変わらず営業していますよ。私も研究室の学生とよく利用しています。

大野氏 慷かしいです。私もよく食事に行きましたが、楽しかった思い出の一つですね。

何事も全力で取り組めば、将来何かにつながっていくことを体験してほしい

根本学部長 工学部卒業後は東芝に入社されましたか、どのようにして名門チームに入ることがでたのですか。

大野氏 大学4年生の時に、体が大きいという理由で福島県選抜に参加した際に、選抜チームのコーチが私のプレーを見て、当時の東芝のコーチだった薗田真広氏に紹介していただいたのがきっかけでした。トライアウトという形で東芝の練習に参加させていただいたのですが、かなり厳しい練習で肩を痛めてしまいましたが、あまり食らい付いていませんでした。

根本学部長 おかけで、試合にも毎回出場することができます。研究を進めていく上では、結果が出なくて辛いこともありますが、めげずに継続していくことがとても大切です。でも、楽しもしないとなかなか続かないもの。研究の楽しさだけでなく、人と触れあう楽しさを味わいながら、互いに切磋琢磨してほしいと思っています。

大野氏 そうですね。それが日本代表の選手がゴロゴロいるチームで、その人たちとも体をバババ

ぶつけ合いながら、社会人って毎日こんなキツイ練習をしているのかと驚きました。

根本学部長 入社後から聞いた話では、その日が1年のうちで一番キツイ練習だったそうです。私も試したんですけど、萬壽園は3年で日本代表に選ばれました。

根本学部長 その方は、見る目があるというか、大野さんの素質を見抜いていたのですね。

大野氏 私が力を発揮できたのは、小細工せずに真正面から当たりに行くという東芝のチームスタイル、人間性が合っていたからだと思います。今、東芝に所属しているリーチ・マイケルもそういう東芝の雰囲気が好きでこのチームを選んでくれました。

根本学部長 日本代表としても多くの試合でご活躍されてきましたが、ご自身の中で一番印象に残っている試合はありますか。

大野氏 もちろん、2015年ワールドカップの南アフリカ戦に勝った試合は最高でしたが、その前の2013年にウェールズに勝ったことも、私自身の中では思い出深い試合です。2004年に初代表としてヨーロッパ遠征に臨んだ時に、ウェールズと戦つて0対98で負けたんです。その後も何度も試合がありましたが、惨敗続きでした。そのチームを相手に、秋宮ラグビー場のホームゲームでたくさん観客の前で勝てたのは大変嬉しかったですね。

根本学部長 惨敗していたチームがそこまで強くなったり戻るというのは何でしょうか。

大野氏 やはり、2012年から指揮官となったエ

ディ・ジョンズヘッドコーチの厳しい練習を乗り越えたことが大きな要因だと思います。就任当初エディ氏に「君たちのいいところは、私の練習メニューを文句も言わずにやるところだ」と言われました。日本人の気質をよく理解されていて、日本人の忍耐力や規律を守るといった強みを活かした戦略が功を奏したのでしょうか。朝から晩まで課された厳しい練習の積み重ねがあったから、それまで勝てなかっただウェールズやイタリアに勝ち、あの南アフリカにも勝つことができたんだと思います。



根本学部長 どんなに強い相手でも、試合が始まると前は勝つ氣で臨まれると思うのですが、実際に南アフリカ戦はどんな気持ちで戦ったのですか。

大野氏 最後のトライが決まるまでは、本当に南アフリカに勝てるとは思っていませんでした。試合の5日前に発表された先発メンバーに選ばれた時も、正直不安でした。世界一の練習を積んできて、それでも南アフリカに大差で負けるような試合になったら、もう日本の人はラグビーを見てくれなくなるんじゃないかなという漠然とした不安があったんです。でも、試合当日、いざスタジアムに行って、ウォーミングアップして、桜のジャージを着て、グラウンドに出た時には、これまでやつてきたことを全部出し切って、それでも負けたらしようがないという開き直りのような覚悟ができていました。

根本学部長 チャレンジ精神というか、何より努力を積み重ねてきたという自信もあったのでしょうか。大野さんはどのように、実直で地道にコツコツ努力するのは、工学部の学生気質でもあると思っているのですが。

大野氏 私も、大学時代、ラグビーや勉強、アルバイトでもそうですが、目の前にある全部のことについて一生懸命取り組んできました。それが、今につな

がっていると思うんです。学生の皆さんにも、これは自分に必要なからやらないではなく、何事も全力で取り組めば、将来何かにつながっていくことを体験してほしいなと思います。

根本学部長 そういう言葉を直接学生に伝えていただけたら嬉しいですね。今でも母校愛や後輩たちへの思いを持っていただいている、大変有難いです。



大野氏 自分の礎を築いてくれた場所ですから、工学部のことは何かある度に懐かしく思い出します。こうしてキャンパスを眺めていると20年前の学生時代の自分に戻れる、そういう場所があるの

はえになります。今度は4月に来て、桜並木を見たいですね。

根本学部長 今年入学した新入生たちも、新型コロナウィルス感染症の影響で、ゆっくり桜を眺めることができなかったと思います。今も、一部の実習実験を除きオンラインによる授業を行っているので、キャンパスでの生活をまだ満喫できていないことは非常に残念です。

大野氏 誰も経験したことのない、こういう状況の中で大学に入学した新入生の皆さんには不安もあるかと思いますが、これには何かしらの意味があるはずです。自分でなく、全国の新入生が同じ状況、同じ思いをしていることを肝に銘じて、ただ憂うのではなく、この経験を将来に活かしてほしいと願っています。

根本学部長 大野さんも仰っていたように、大学時代の友人は一生つながっていくものであり、大切な財産になります。特に新入生はキャンパスに来られるようになつたら、仲間とともに大いに学生生活を楽しんでほしいと思っています。

大野氏 郡山は都会的でもあり、ローカルな部分

や自然もあります。全国から学生が集まってきたているでしょうから、ぜひ、郡山で4年間、充実したキャンパスライフを送ってほしいですね。

根本学部長 最後に、大野さんの今後の目標をお聞かせください。

大野氏 現在、東芝ラグビー部の普及担当として活動させていただいている。お世話になった東芝ブレイブルーパスが昔のように優勝するのを当たり前のチームになるために尽力することが目標の一つです。また、昨年のワールドカップによって多くの人にラグビーの良さをわかっていただけたので、その火を消さず、さらに大きくなるように活動していくたいですね。自分にしかできないことが何かあると思うので、それを見つけて取り組んでいきたいと考えています。ラグビーは自分が成長させてくれるもの、たくさんの方と出会うことができたし、いろいろな国にも行くことができたし、これからもラグビーと関わりながら、さらに成長していきたいと思います。

根本学部長 今日はありがとうございました。今後益々ご活躍されますことを期待しています。

卒業生特集

スペシャル対談

元ラグビー日本代表 大野 均氏

日本大学工学部長 根本 修克 教授



信条は
『灰になつても、まだ燃える』

大野 均氏 プロフィール

郡山市三穂田町出身 1978年5月6日生まれ
(福島県立清陵情報高等学校出身)

1997年に日本大学工学部機械工学科に入学。大学でラグビーを始め、頭角を現す。
2001年から東芝ブレイブルーパス所属。日本代表キャップは歴代最多98。
2007年、2011年、2015年のラグビーワールドカップ日本代表に選出され、“世纪の番狂わせ”と言われた南アフリカ戦にも先発出場し、勝利に貢献した。また2015年12月からはスーパーラグビーの日本チームサンウルブズでも活躍。2020年5月18日、チームを通して、現役引退を発表。惜しまれつつも19年間に及んだ選手生活にピリオドを打った。



6月24日(水)、来学された大野氏に、工学部から感謝状を贈りました。根本学部長は、「大野さんのひたむきに前に向かうプレーは、本学学生をはじめ多くの人々に大きな希望と勇気を与え、本学の誇りである」と讃え、感謝状を手渡しました。職員からも、これまでの活躍と功績を褒め花束を贈呈しました。大野氏からは、工学部に対して、自身の信条である『灰になつてもまだ燃える』の直筆のサイン色紙と、在学生の皆さんへ「日本大学工学部で将来を形作る何かに出会うかもしれない。それを見つけて、全力でチャレンジしてほしい！」と熱いメッセージが送られました。根本学部長との対談後、大野氏は現ラグビー部員と歓談され、今昔ラグビー部談義で盛り上がりいました。個々の名前が入った色紙をプレゼントされ、満面の笑みを浮かべる学生たち。きっと、一生の宝物になることでしょう。この場をお借りして、大野氏に深く感謝申し上げます。工学部学生、教職員一同、今後の大野氏の第二の人生でのご活躍を祈念しております。



令和元年度就職実績



学部・大学院ともに、就職率^{*}100%達成

工学部の令和元年度の就職実績は、学部及び大学院において、共に3年連続100%の就職率を達成しました。日本中の企業で活躍する日本大学卒業生のネットワークを活用し、Uターン希望者についても、地元の優良企業に就職が決まっています。

以下、令和元年度の各学科別の就職状況及び公務員・教員採用状況を示すとともに、今後の就職活動について紹介します。

日本全国から寄せられる約11,600社の求人

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会社説明会、採用試験がWeb化されるなど、企業・学生とも大きな変化の中、令和2年度の就職活動がいよいよ佳境を迎えていました。工学部で直接受け付けている求人と、日本大学本部で受け付けている求人を合わせた約11,600社(令和元年度実績)の中には、工学部のみを指定する企業も多く含まれていますので、自ずと内定獲得の可能性が高くなります。

また、全国的に定数減の公務員については、テキスト代のみの負担で受講できる公務員試験対策講座や日本大学一斉公務員模擬試験(無料)を実施しており、順調に採用実績をあげています。

()女子内数

区分 令和元年度 学部・大学院 就職状況	土木		建築		機械		電気		生命		情報		合計						
	学部		就職者数		157(6)	194(24)	161(7)	172(7)	104(28)	173(5)	961(77)	就職率		100%	100%	100%	100%	100%	100%
	大学院		就職者数		5	11(1)	18	9	23(3)	12(1)	78(5)	就職率		100%	100%	100%	100%	100%	100%

令和元年度 主な就職決定先(大学院含む)																		
土木	建築	機械	電気	生命	情報													
国土交通省関東地方整備局 (国研)国際環境研究所	大成建設(株) (株)熊谷組	東日本旅客鉄道(株) 日本トムソン(株)	東京電力ホールディングス(株) 東北電力(株)	ニプロフーマ(株) キヤノン化成(株)	凸版印刷(株) 大日本印刷(株)	東邦電力(株)	東京建設計(株)	自己分析テスト(R-CAP)	東洋建設計(株)	三井住友銀行(株)	日本電気(株)	矢崎總業(株)	外國人留学生就職ガイダンス	SPI模擬試験(U)テストセンター対策	SPI模擬試験(P)対策	第1回就職ガイダンス	11月～12月	業界別就職セミナー・就職活動体験発表会
仙都工業(株)	五洋建設(株)	三井住友建設(株)	(株)ユアテック	(株)さんでん	ユニチャーム・プロダクツ(株)	(株)東陽テクニカ	三慶ケミカルエンジニアリング(株)	アルバイン(株)	レインボーライフ(株)	ニセコヒルズテクノロジー	アルバイン(株)	SPI模擬試験(P)対策	自分の将来設計と就活入門	自己分析テスト(R-CAP)解説会	第2回就職ガイダンス	12/1(火)～4(金)	エントリー試験	
(株)ユアテック	鹿島建設(株)	積水ハウス(株)	(株)間電工	(株)さかでん	(株)東陽テクニカ	三慶ケミカルエンジニアリング(株)	アルバイン(株)	レイズネクト(株)	明星工業(株)	エヌエスティディテクノロジー	富士通(株)	就活スープ着こなし講座	就職常識試験	第3回就職ガイダンス	第4回就職ガイダンス	12/2(水)	第2回就職ガイダンス	
東洋建設(株)	東洋建設(株)	大和ハウス工業(株)	新菱冷熱工業(株)	(株)協和エクシオ	(株)コモックス	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	ニセコヒルズテクノロジー	ニセコヒルズデザイン(株)	ニセコヒルズデザイン(株)	NTTデータ・アイ	NTTデータ・アイ	就職常識試験	第5回就職ガイダンス	第6回就職ガイダンス	12/27(水)	第1回実践模擬面接	
東邦工業(株)	東邦工業(株)	東急建設(株)	ニプロエクス(株)	(株)協和エクシオ	東京電力ホールディングス(株)	東邦電力(株)	日本新興工業(株)	エヌエスティディテクノロジー	ニセコヒルズデザイン(株)	ニセコヒルズデザイン(株)	アサカ理研	アサカ理研	就職常識試験	第2回実践模擬面接	第7回就職ガイダンス	1/29(金)	第2回実践模擬面接	
鉄建建設(株)	第一建設工業(株)	(株)横木組	東京電力ホールディングス(株)	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	ニセコヒルズテクノロジー	ニセコヒルズデザイン(株)	ニセコヒルズデザイン(株)	ジャステック	ジャステック	就職常識試験	第3回就職ガイダンス	第8回就職ガイダンス	1/29(金)	労働法セミナー	
第一建設工業(株)	首都高メンテナンス東京(株)	(株)朝日工業社	(株)東京電力ホールディングス(株)	(株)日本セメント	アルプスアルバイン(株)	矢崎總業(株)	福島ガラス(株)	白河オリンパス(株)	東京電力ホールディングス(株)	日本テキスタイルメタルメンバーズ会社	日本テキスタイルメタルメンバーズ会社	日本テキスタイルメタルメンバーズ会社	就職常識試験	日本大学合同企業研究会・就職セミナー	日本大学合同企業研究会・就職セミナー	3/2(火)	日本大学合同企業研究会・就職セミナー	
(株)NIPPO	東日本旅客鉄道(株)	松井建設(株)	大東建託(株)	福島ガラス(株)	アルバイン(株)	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	福島ガラス(株)	日本テキスタイルメタルメンバーズ会社	東邦情報システム(株)	富士通(株)	富士通(株)	就職常識試験	工学部就職セミナー	工学部就職セミナー	3/8(月)～10(水)	工学部就職セミナー	
(株)ネクスコ東日本エンジニアリング	大豊建設(株)	北芝電機(株)	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	日本新興工業(株)	日本テキスタイルメタルメンバーズ会社	東邦情報システム(株)	NTTデータ・アイ	NTTデータ・アイ	就職常識試験	第1回実践模擬面接	第9回就職ガイダンス	12/1(火)	第1回実践模擬面接	
八千代エンジニアリング(株)	東洋建設(株)	東京電力ホールディングス(株)	日野自動車(株)	白河オリンパス(株)	日本工芸(株)	日本工芸(株)	日本工芸(株)	日本工芸(株)	日本テキスタイルメタルメンバーズ会社	日本テキスタイルメタルメンバーズ会社	アサカ理研	アサカ理研	就職常識試験	第2回実践模擬面接	第10回就職ガイダンス	1/28(木)	第10回就職ガイダンス	
日本工芸(株)	JR東日本コンサルタツ(株)	グランティハウス(株)	日信工業(株)	小倉クラッチ(株)	AGCレクトロニクス(株)	AGCレクトロニクス(株)	AGCレクトロニクス(株)	AGCレクトロニクス(株)	AGCレクトロニクス(株)	AGCレクトロニクス(株)	AGCレクトロニクス(株)	AGCレクトロニクス(株)	就職常識試験	第3回実践模擬面接	第11回就職ガイダンス	1/29(金)	第11回就職ガイダンス	
(株)乃村工藝社	東海旅客鉄道(株)	(株)ネクスコ東日本エンジニアリング	(株)IHI	日野自動車(株)	東京建機(株)	東京建機(株)	東京建機(株)	東京建機(株)	東京建機(株)	東京建機(株)	東京建機(株)	東京建機(株)	就職常識試験	第4回実践模擬面接	第12回就職ガイダンス	1/30(土)	第12回就職ガイダンス	

令和元年度 公務員・教員 採用状況 (学部・大学院含む)	土木		建築		機械		電気		生命		情報		合計						
	公務員		19	9(2)	8	1	2	4	6(1)	0	43(2)	教員		2	2	1	4	6(1)	15(1)

工学部の就職支援

就職指導課に相談しよう

就職関連の相談は就職指導課(54号館2階)へ!

主な進路の種類は企業・公務員・教員への就職と大学院進学です。進路が決められないときは、1人で悩まずに就職指導課のスタッフに相談してください。

「CSNavi」「NU就職ナビ」を利用した求人検索



CSNaviは、工学部が独自に開発し、工学部の学生のみが使用できる就職サイトです。企業や公務員・教員のほか、臨床工学技士、工学部校友会の求人情報も検索できます。



NU就職ナビは、日本大学全体の学生を対象とした総合就職情報サイトであり、企業情報16万件、求人情報1万数千件が集積されています。学生の皆さんには就職活動の開始時及び就職先決定時にこのサイトで入力していただけます。

今後の就職支援行事

就職ガイダンス・就職試験対策等スケジュール (※新型コロナウイルス感染症の影響で変更等になる可能性があります)

月 日	行事内容	月 日	行事内容
9/17(木)	第1回就職ガイダンス	11月～12月	業界別就職セミナー・就職活動体験発表会
9/17(木)	リケジョのための就職入門	12/1(火)～4(金)	エントリー試験
9/19(土)	自己分析テスト(R-CAP)	12/12(土)	第2回インターンシップガイダンス
10/10(土)	第2回就職ガイダンス	12/19(土)	第4回就職ガイダンス
10/10(土)	外国人留学生就職ガイダンス	12/19(土)	第2回大学院就職ガイダンス
10/17(土)	SPI模擬試験(U)テストセンター対策	1/9(土)	第5回就職ガイダンス
10/24(土)	自分の将来設計と就活入門	1/27(水)	第1回実践模擬面接
10/24(土)	自己分析テスト(R-CAP)解説会	1/28(木)	第2回実践模擬面接
11/7(土)	SPI模擬試験(P)対策	1/29(金)	第6回就職ガイダンス
11/14(土)	第3回就職ガイダンス	1/29(金)	労働法セミナー
11/14(土)	就活スープ着こなし講座	3/2(火)	日本大学合同企業研究会・就職セミナー
11/28(土)	就職常識試験	3/8(月)～10(水)	工学部就職セミナー

公務員試験対策講座等スケジュール

月 日	行事内容	月 日	行事内容
9/8(火)～11(金)	夏期特別集中講座	12/12(土)	第3回公務員ガイダンス
9/19(土)	第2回公務員ガイダンス	2/10(水)～25(木)	実践コース③主に3年次生対象 公務員試験対策講座
9/19(土)～12/12(土)	基礎コース 主に1・2年次生対象 公務員試験対策講座	3/3(水)～6(土)	春期特別集中講座 3年次生対象
9/19(土)～12/12(土)	実践コース②主に3年次生対象 公務員試験対策講座	3月下旬	全国版公務員模擬試験 3年次生対象
10月上旬	第2回面接練習会	10月上旬	第2回日本大学一斉公務員模擬試験 全学年対象

700社が集まる工学部就職セミナーを有効活用

工学部独自の就職セミナーは毎年、多数の企業が参加しています(平成31年3月開催の就職セミナーでは、約700社が参加)。学部独自では全国でも最大規模を誇るセミナーで、日本大学工学部の学生に対する企業の期待の大きさがわかります。内定につながる割合も高く、学内にいながら、多くの企業の人事担当者と面談できることは移動時間や費用がかからないため、就活への負担も大幅に減らせます。



持続可能社会実現の基盤となる エネルギー有効利用技術の研究

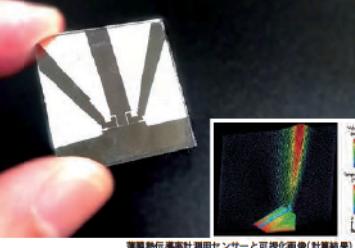
機械工学科 サステナブルエネルギー研究室 田中 三郎 専任講師

私たちの生活において、“省エネ”は当たり前の時代。その一方で、昨今、“未利用エネルギー”という言葉が聞かれるようになります。日本のエネルギー供給の過程で、一次エネルギーの約6割が利用されずに排熱(未利用熱)として捨てられているのです。この未利用エネルギーを産業分野、運輸分野、居住環境の中で効率的に活用することが、更なる“省エネ”につながると考えられています。機械工学科サステナブルエネルギー研究室の田中三郎専任講師が今、最も力を入れている研究の一つ、それが未利用エネルギーの有効活用です。

熱物性計測の研究で社会貢献を目指す



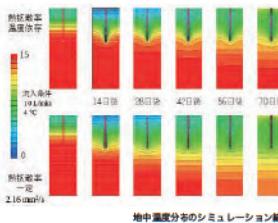
ナノテクノロジーを駆使した 薄膜型熱電デバイス



薄膜熱伝導率計測センサーと可視化画像(計算結果)

地中の物性を解明し 地中熱利用システムに役立てる

再生可能エネルギーの一つとして注目されている地中熱。これを利用したヒートポンプによる冷暖房システムの開発が盛んに進められています。普及拡大には低コストであることはもちろん、地質情報や環境影響を評価することも重要です。浅層の地中温度は、外気温と比較して小さな変動幅ではありますが、やはり気温・降雨・日射の影響を受け、季節により変動するため、地中熱利用のメリットの一つである一定温度の熱源としては課題が残ります。それを踏まえて、地中熱利用システムの設計に必要な地中の物性を明らかにするための研究に取り組んでいます。工学部キャンパス内で測定した地中温度から地中の熱物性を簡易推定し、計算値と実験値との誤差をわざわざすることが可能であると示しました。2040年頃を目指す県内エネルギー需要の100%相当量を再生可能エネルギーで生み出すことを目標にしている福島県の取り組みに対して、工学部の地中熱利用の研究にも大きな期待が寄せられています。



新しい計測技術の 確立を目指して



省エネルギーの観点から、エアコンの省エネ性能を表すCOP(Coefficient Of Performance: 冷暖房平均エネルギー消費効率)向上に関する研究も行っています。特に、エアコン室外熱交換器の着霜に注目して、キャンバス内にエアコンCOP計測用フィールド試験装置を設置し、実際に環境パラメータを計測しています。霜層の有効熱伝導率を直接計測している例はなかなかないでしょう。熱を利用する装置や熱を発する電子機器などをつくるために必要となる熱物性の計測を装置の製作を含めて行っている点が、本研究室の特徴でもあります。研究においては、ものの本質を見極めることを第一に考えている田中専任講師。実は物理的現象に興味があり、それを解明することに魅力を感じて熱物性の研究に取り組んでいると言えます。物理的な現象を定量化するためにはそれらを正確に測ることが非常に重要です。自身で考案した計測方法や計測技術が確立されることを密かな目標に、田中専任講師は新たな計測技術の開発と熱の物性計測での社会貢献を目指しています。

バイオマス燃料を用いた 固体酸化物形燃料電池の研究開発

電気電子工学科 パワーエレクトロニクス研究室 渡部 仁貴 教授

今年3月に開所した、世界最大級の再生可能エネルギー由来の水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)」。そこで製造された水素が、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の際に、燃料電池自動車や燃料電池バスの燃料として活用される予定でした。今、次世代の発電システムとして大きな注目を集めている燃料電池。そうした中で、電気電子工学科パワーエレクトロニクス研究室の渡部仁貴教授は、バイオマス燃料を用いた固体酸化物形燃料電池の実用化に向けた研究開発に挑戦しています。

次世代発電システムとしての実用化を目指す



福島県産の麦わらを バイオマス燃料の原料に利用

燃料電池は、外部から燃料を供給することで化学エネルギーを電気エネルギーに変換する電気化学デバイスの一種です。電解質の種類によってリソルビド型(PAFC)、固体高分子型(PEFC)、溶融炭酸塩型(MCFC)、固体酸化物形(SOFC)の4種類に分かれています。中でも、固体酸化物形燃料電池は800度以上の高温で稼働するため、白金などの高価な触媒が不要で、他の燃料電池と比較しても発電効率が高く、長寿命という利点があり、火力発電を代替する有力候補と考えられています。燃料は水素をはじめ、メタンなどの炭化水素、天然ガス、都市ガスのほか、バイオガスも使用できます。渡部教授が着目したのはバイオマス燃料です。原料は福島県産麦わらなどの農作物の廃棄物。粉砕した麦わらを400度で加熱し、熱分解による方法で燃料を作ります。つまり、麦わらを炭焼きのよのうにしてガスを発生させ、そのガスを使って発電させる仕組みです。この研究については、同じ学科の電気エネルギー工学研究室の千葉玲一教授と共に進めています。

普及拡大への鍵は 電気変換高効率と低成本化



バイオガスを直接燃料とする固体酸化物形燃料電池の発電性能は、水素燃料に比べて燃料の前処理の課題があることがわかっています。麦わらを燃やす際に、植物に含まれるタール(ヤニ)が出てまい、電池に悪影響を及ぼしてしまうからです。今後の課題として、タールなどの影響の低減方法を確立するとともに、バイオマス燃料に含まれる成分分析や含有物質による影響の定量的評価が重要になると考えられます。水素と同様に安定した発電ができるかが鍵を握っていると言えるでしょう。もう一つ、固体酸化物形燃料電池の普及を運営しているのが、コストの問題です。低成本化のために原料及び生産プロセスのコスト削減、市場開拓による量産が必要不可欠です。渡部教授は、バイオマス燃料のコスト削減も研究課題であると考えています。まだまだ発電効率が低く、どのように効率を向上できるかが課題です。また、再生可能エネルギーは主に直流で発電されるので、それを家庭で交流に変換するために必要なインバータ回路についても研究しています。

様々な課題解決に向け、 研究に邁進する

渡部教授は、燃料電池の幅広い普及には地域に即した形態を提供することが重要だとし、使用環境に合致した技術開発を目指しています。現在、福島県再生可能エネルギー関連事業推進研究会水素分科会のアドバイザーとして、県内・国内外の最新動向調査などを行っており、水素社会実現に向けた活動にも力を入れています。福島県は水素先進県であり、ドイツのNRW州と協定を結び、再生可能エネルギー分野におけるビジネスの拡大にも貢献しています。火力発電の代替発電システムとして有望な固体酸化物形燃料電池は、福島県のみならず、今後益々、普及拡大への期待が高まるでしょう。開発には幅広い技術が必要ですが、様々な課題解決に向けて挑戦を続ける渡部教授。研究に対しては、「深刻にならずに真剣に取り組む」を信条とし、自分の持てる能力の限りベストを尽くすのみと考えています。「困難な事柄が多い仕事ではあるが、研究への口火エンジニアもパワフルに育っています。



第3回福島テックプラングランプリで最優秀賞と企業賞を受賞

7月11日(土)に開催された第3回福島テックプラングランプリ(主催・運営:株式会社リバネス)において、電気電子工学科の石川瑞恵専任講師が発表した『スピントロニクスラボ』が最優秀賞と企業賞(クレハ賞、NEST iPLAB賞)、機械工学科の武藤伸洋教授が発表した『Alpha Robot Park』が企業賞(菊池製作所賞)を受賞しました。本コンテストは、株式会社リバネスと福島県が共に推進している福島県リーディング起業家創出事業の一環として、大学教員等の研究シーズと企業をマッチングさせ社会実装するためのイベントです。今年は、福島県内の研究者・学生・ベンチャーなど計22チームのエントリーがあり、パートナー企業及びコンソーシアム構成機関による選考を経て、最終選考会となるグランプリでは選ばれたファイナリスト9チームが、課題解決につながる研究とその実装に向けた想いをプレゼンテーションしました。

審査員による審査の結果、6つの企業賞と最優秀賞が決定し、石川専任講師は見事最優秀賞と2つの企業賞を獲得。今後は具体的な研究開発、法人化など事業化に向けて、企業との連携を深めていきます。

FUKUSHIMA TECH PLAN GRAND PRIX



Alpha Robot Park

武藤教授のプランは、誰でもロボットを組み合わせ自由に開発できるシステム構築。新しいロボットの開発が加速する中、それらを操作する人材は今も限られていますが、ロボットの開発者によらず、ユーザーや目的に適した操作に関わる装置やソフトウェアを簡単に接続できるサービスアシスタントシステムを構築し、誰もがロボットを自由自在に操れる世界の実現を目指しています。



土木広報大賞 2019 優秀部門賞

【教育・教材部門】

土木教育を通した
小中高生向け広報活動
日本大学工学部土木工学科
コンクリート工学研究室

クローズアップ工学部

土木工学科構造・道路工学研究室(元コンクリート工学研究室:岩城一郎教授)では、これまで住民との協働による道づくりや橋のメンテナンス等の活動、更には小中高校生を対象に社会インフラの重要性を理解してもらうための教育活動に取り組んできました。これらの多様な取り組みがいろいろな視点で評価され、3つの賞を受賞。公益社団法人土木学会『土木広報大賞2019』では、オリジナルの教材を使用し、土木教育を通じた広報活動によって、教育を受けた小中学生やその親御さんがコンクリートや橋、点検等へ関心を抱くなど、土木工学に対する意識向上につながっていることが評価され、優秀部門賞(教育・教材部門)に輝きました。また、これらの取り組みを発表した令和元年度土木学会全国大会第74回年次学術講演会の論文『福島県平田村における市民協働型橋梁セルメンテナンスシステムの実装』が、同会田中賞選考委員会令和元年度『かけはし賞』を受賞しました。更に、2012年度から行っている住民と学生の協働による平田村での道づくりも含め、現在、南会津町、郡山市、葛尾村をはじめ宮城県内や東京都内などの計13市町村で展開している地域の活動が評価され、『第5回ふくしま経済・産業・ものづくり賞(通常ふくしま産業賞)』の学生金賞も受賞しました。これらの活動は、

本研究室の客員研究员である浅野和香奈さんが、学部・大学院在籍時の研究の一環として、福島県の平田村や郡山市などをはじめ、宮城県黒川高等学校やその他全国各地と連携して進めてきたものです。浅野さんは、「住民の方々で清掃することが習慣化しつつあり、地域活動の延長線上に橋の点検があり、住民で地域にある橋梁の日常的な予防保全ができるという理想的な形ができつつあります。本格的な橋梁点検と清掃を併せたセルメンテナンスを他地域にも提案・展開できたらと考えています」と話しています。

受賞に際し、岩城教授は、「本研究室の一連の活動に対して、いろいろな視点から評価いただいたことに大きな意義を感じています。今後も地域インフラの長寿命化を目指すとともに、教育活動を通して土木の発展に寄与していきたい」と決意を新たにしています。

住民主導による橋梁点検と清掃活動を併せた新しいインフラ整備モデル



地域に根ざした「橋のセルフメンテナンスふくしまモデル」が様々な視点から高く評価され、3つの賞に輝く



住民主導による橋梁点検と清掃活動を併せた新しいインフラ整備モデル





新型コロナウイルス感染症に対する

工学部の取り組みについて



工学部の学生支援の概要

多くの学生が経済的にも精神的にも厳しい状況に置かれる中、日本大学工学部では全ての学生に、学修環境を可能な限り守り、安心・安全に大学生活を送ってもらうため、新たな支援制度の創設を含む「緊急支援」を行っています。

SUPPORT

01 経済的支援

✓ 日本大学及び工学部独自の支援

1 学修環境補助費

日本大学では新型コロナウイルス感染症に係る学生支援の一環として、オンライン授業を受講するまでの学修環境を整えるための学修環境補助費を支給いたします。

学修環境補助費3万円

2 日本大学創立130周年記念奨学金(第3種)

今回の新型コロナウイルス感染症拡大による、学費支弁者の家計急変や学生本人の収入減による経済的困窮者に、これを適用し給付いたします。
1人当たり10万円(総額10億円)

3 日本大学工学部北桜奨学金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、家計が急変した世帯の学生などの修学機会を失わないための救済として、年額24万円を給付しています。(随時募集中)

年額24万円

4 教職員学生支援会

日本大学工学部では、意欲と能力のある学生が学修を妨げられないよう、経済的に支援する教職員学生支援会を立ち上げました。根本修克工学部長を会長、酒井泰志事務局長を副会長とした教職員有志によって構成されています。詳細につきましては学生課までお問い合わせください。



新型コロナウイルス感染防止策に係る学生の遵守事項の徹底について

工学部では新型コロナウイルス感染防止策に係る注意事項について、遵守と実施の徹底をお願いしています。各自が正しい感染予防の知識と人権意識を持つとともに、過度に不安になることなく落ち着いた行動を取るよう併せてお願いします。(以下遵守事項の一部です)

■ 朝に検温し「日本大学健康観察システム」へ入力

■ 発熱や咳、倦怠感などがある場合は登校しない

■ 入構時にはマスク着用、学生証必携、本館1階で学生証をカードリーダーに提示。

■ サーモグラフィーによる検温(37.5度以上入構不可)

学生課 TEL:024-956-8631 平日9時～17時 土曜9時～13時 Mail:ceb.gakusei2@nihon-u.ac.jp

保健室 TEL:024-956-8649 平日9時～17時 土曜9時～13時



新型コロナウイルス感染症が全世界的に流行し、新年度のスタートは例年ないものとなりました。希望をもって新学期を迎えた在学生の皆さん、いまだ終息が見えないこの状況に大きな不安を抱えていることと思います。また、ご父母の皆様におかれましても、ご子息・ご息女の学修・生活につきまして大変なご心配をされていることと存じます。

工学部及び大学院工学研究科では、現在も引き続き更なる対策を講じております。学生ならびにご父母の皆様の不安を解消し、從来と変わらぬ教育内容を提供し、教育の質を保証するために、教職員が一丸となってサポートして参ります。

SUPPORT

02 学内設備対策



サーモグラフィーカメラを設置して入構者
の体温をチェック



各建物入口、教室入口など学内随所に消毒液
を設置し、手指消毒の徹底



学生証とカードリーダーを使用した入構者
確認の徹底

SUPPORT

03 こころのケア

✓ 工学部学生支援室より～こころの健康を保つために～

在学生の皆さんは心身のストレスや疲れが重なっていませんか。心身のストレスを抱えるようなことがありましたら、遠慮なく学生支援室に相談してください。

また、皆さんが心身の健康を保ち、落ち込んでいる状況を乗り切ることができるよう、工学部ホームページにおいて「ストレスのこと」①～③を掲載しました。この情報がお役に立てば幸いです。

学生支援室への相談は、引き続き電話相談をお勧めしています。プライバシーは固く守られますので、安心してご利用ください。

学生支援室 024-956-8651(直通) 受付時間:月曜日～金曜日 10時～16時



C H E C K

尚、新型コロナウイルス感染症への対応については、日々状況が変化していることから、随時、工学部ホームページ及びポータルサイトにて最新情報を確認してください。各施設の開館・営業時間等についても随時お知らせしています。

最新情報はこちらから

新型コロナウイルス感染症に対する対応について

▲ <https://www.ce.nihon-u.ac.jp>

工学部ホームページトップのバナーよりご確認ください

